

## 特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第16期5月度理事会議事録

I. 日 時：2019年5月26日（日）13:10～16:50

II. 場 所：東京都千代田区 東京国際フォーラムG404会議室

III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名

IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、南久則（副理事長）、赤松利恵、上西一弘、川島由起子、菊地和美、木村典代、小切間美保、酒井徹、鈴木公、塚原丘美、名和田清子、村山伸子、由田克士、川久保清（委任出席）、佐藤伸（委任出席）、下浦佳之（委任出席）、瀧本秀美（委任出席）、山本浩範（委任出席）

出席監事氏名：冨田教代、林静子

その他の出席者：竹内弘幸（第66回学術総会会長）、山部秀子（第67回学術総会会長）

### V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、鈴木公理事及び塚原丘美理事を選任することを全員異議なく承認した。

### VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

#### 【I. 庶務関連事項】

1. 会員の動向（上西庶務担当理事）
  - (1) 2018年度支部会別・都道府県別会員数
  - (2) 会員の休会
  - (3) 評議員の異動
  - (4) 協力会員
2. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦（武見理事長）
3. 2019年度通常総会・評議員会の準備（上西庶務担当理事）
4. 会員増（会員の定着）対策（南副理事長）
5. 今後の会議・活動予定（上西庶務担当理事）

#### 【II. 財務関連事項】

1. NPO第16期経費執行状況と見込決算（塚原財務担当理事）

#### 【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（由田編集担当理事）
2. 栄養学雑誌サプリメント（コアカリ事業の成果）刊行準備（赤松理事）
3. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015準拠教科書シリーズ（武見理事長）

#### 【IV. 学術関連事項】

1. NPO第16期事業執行状況（赤松学術担当理事）
2. 2019年度功労賞・学会賞・奨励賞（武見理事長）
3. 第66回学術総会準備状況（竹内第66回学術総会会長）
4. 第67回学術総会準備状況（山部第67回学術総会会長）
5. 「健康な食事・食環境」推進事業（赤松学術担当理事）
6. 食環境整備推進委員会報告（赤松学術担当理事）
7. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）活動報告（由田理事）

## 8. 関連学協会等との連携（回覧資料）

- (1) 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会提言「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案ーより効果的な家庭科教育の実現にむけてー」（情報提供）
- (2) 厚生労働省健康局長「管理栄養士国家試験出題基準の策定について」（情報提供）
- (3) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会平成30年度第2回総会への出席
- (4) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「健康な食事研究会アドバイザー委員」の就任
- (5) 一般社団法人日本糖尿病学会「食事療法に関するお願い」意見提出
- (6) 一般社団法人臨床栄養実践協会「臨床栄養実践協会第6回記念セミナー」後援
- (7) 第7回日本食育学会学術大会実行委員会「第7回日本食育学会学術大会」後援
- (8) 一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションディ2019」後援
- (9) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2019」後援
- (10) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「第8回栄養とエイジング国際会議」後援

### 【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. JSNDメールニュース事業（酒井広報担当理事）

### 【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（村山国際担当理事）

### 【VII. 支部会報告】

1. 支部長会議の開催準備（武見理事長）
2. 支部会活動報告
  - (1) 北海道支部会（菊地理事）
  - (2) 東北支部会（書面報告）
  - (3) 関東・甲信越支部会（木村理事・副支部長）
  - (4) 北陸支部会（竹内第66回学術総会会長）
  - (5) 東海支部会（塚原理事・支部長）
  - (6) 近畿支部会（由田理事・支部長）
  - (7) 中国支部会（名和田理事・支部長）
  - (8) 四国支部会（酒井理事・支部長）
  - (9) 九州・沖縄支部会（南副理事長）

### 【VIII. NPO第17期事業計画案及び予算案】

1. NPO第17期事業計画案及び予算案の骨子（武見理事長）

## VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

### 【I. 庶務関連事項】

1. 会員の動向
  - (1) 2018年度支部会別・都道府県別会員数・・・5月20日現在の支部別・都道府県別会員数が配布され、これを了承した。
  - (2) 会員の休会・・・2名の正会員から休会届の提出があったことが報告され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。
  - (3) 評議員の異動・・・3月31日付で斉藤功、塚本幾代の2名が退会し、現在の評議員は442名であることが報告され、これを了承した。5月23日現在の評議員名簿が配布された。
  - (4) 協力会員・・・五洲薬品株式会社（富山県）が入会し、協力会員は21社となったことが報告

され、これを了承した。5月20日現在の協力会員名簿が配布された。

2. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦・・・4月14日の名誉会員・終身会員推薦委員会の結果、名誉会員候補者として鈴木公氏を、終身会員候補者として太田美穂氏、川久保清氏、小林君枝氏、近藤和雄氏、西堀すき江氏、西牟田守氏、樋口満氏、逸見幾代氏、松崎政三氏、松田秀人氏、宮本佳代子氏、八木典子氏の12名を、評議員会・通常総会に推薦することを承認した。

参考資料として5月20日現在の名誉会員・終身会員名簿が配布された。名誉会員・終身会員で、郵便物が宛先不明で返送されるなどした会員の対応について発言があった。審議の結果、連絡先不明となった時点から2年を経過した会員は名誉会員・終身会員名簿の掲載を見合わせることを合意した。

3. 2019年度通常総会・評議員会の準備・・・通常総会・評議員会の議事次第と開催準備について原案を承認した。総会資料作成のため担当議題（支部会含む）の資料は、7月16日必着で事務局に提出することを確認した。
4. 会員増（会員の定着）対策・・・南WGリーダーから4月26日締切で全理事に求めた意見をふまえ、本日、午前中に開催したWGの検討結果が報告された。審議の結果、次の対策を講じることを合意し、具体に向けた検討を行うこととした。

[会員増(会員の定着) 対策]

- 1) 参加者の便（開催曜日、開催場所）を考慮した学術総会の実施：2022年開催の第69回学術総会から実施を目指す。2022年については日本で開催される第8回アジア栄養士会議（ACD2022）の会期も配慮する。
  - 2) 管理栄養士・栄養士養成施設の教員の入会促進：平成30年度厚生労働省委託事業の成果の活用。
  - 3) 学生会員（学部生・院生）の交流の場の提供：2020年開催の第67回学術総会から実施を目指す。企画は本部が担当する。
  - 4) 栄養学雑誌投稿における迅速審査の導入：6月開催の編集委員会で検討する。
5. 今後の会議・活動予定・・・2019年5月以降の会議・活動予定が配布された。主な予定は次のとおりである。

[総会・評議員会] 9月5日

[理事会・監事会] 8月17日

[役付理事打合会] 7月20日

## 【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NPO第16期経費執行状況と見込決算・・・5月20日現在の経費執行状況（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、収支計算内訳書・年度末見込計算付き）と第65回学術総会会計報告が配付され、これを了承した。

## 【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・5月17日現在の論文受付、審査、掲載の状況が配布され、投稿数は堅調であることが報告された。充実した学会誌刊行のため、前回理事会に続き、投稿の働きかけと、投稿規定・執筆要領に沿った投稿原稿の作成について、理事各位の協力をいただきたい旨、発言があった。
2. 栄養学雑誌サプリメント（コアカリ事業の成果）刊行準備・・・栄養学雑誌77巻サプリメントとして刊行することとし、編集体制と刊行予定が口頭で説明され、これを了承した。

[栄養学雑誌77巻サプリメント]

- 1) 編集体制：役付理事が担当、サプリメント編集委員長は赤松学術担当理事。
- 2) 刊行予定：2019年10月31日に刊行、発送は77巻6号と同送。
3. 管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム2015準拠教科書シリーズ・・・平成30年度厚生労働省委託事業の成果物であるモデル・コア・カリキュラム準拠への改訂が提案され、以下の事項について承認した。

[教科書シリーズの改訂]

- 1) 新シリーズの名称は、「管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠」とする（2019年5月22日 厚生労働省栄養指導室確認済み）。
- 2) 現シリーズの編者により、改訂の方針について早急に検討を行う。

#### 【IV. 学術関連事項】

1. NPO第16期事業執行状況・・・5月20日現在の事業執行状況が配付され、これを了承した。
2. 2019年度功労賞・学会賞・奨励賞・・・5月12日の学会賞等選考委員会の報告を受け、2019年度の実績者を次のとおり決定した。また選考委員会からのコメント（奨励賞受賞者が学会賞候補者として推薦された場合、奨励賞受賞後の経過年数等の物理的な目安）については、課題として次期役員会に引き継ぐこととした。

功労賞 村山伸子

学会賞 瀧本秀美、松下由実

奨励賞 小島唯、高木絢加、町田大輔

3. 第66回学術総会準備状況・・・一般演題登録状況（616題）、企画プログラム、スポンサー、取材規定、実行委員会名簿、ランチョンセミナーの運営（事前登録制）について配付され、これを了承した。次回以降の開催を含め協賛企業の獲得については、理事会の積極的な支援を期待する旨の発言があった。
4. 第67回学術総会準備状況・・・実行委員名簿、実行委員会規約、学術総会テーマ（「未来につながる食と健康－恵み豊かな北の大地からの提言 ふたたび－」）など、準備状況が配付され、これを了承した。副会長に板垣康治北海道文教大学教授が推薦され、これを承認した。
5. 「健康な食事・食環境」推進事業・・・第1回、第2回の認証状況、本事業の運営にかかる組織・事務局体制、商標登録進捗状況が配付され、これを了承した。
6. 食環境整備推進委員会報告・・・口頭にて報告があった。
7. 日本給食経営管理学会共催事業「食品データベースに関する連絡・検討会」（仮称）活動報告・・・2月22日に開催された第4回準備会の議事要旨、今後の活動について配付され、これを了承した。来期（NPO第17期）から2年間の時限付きで検討会として活動することを承認した。
8. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。
  - (1) 日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分会提言「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案－より効果的な家庭科教育の実現にむけて－」（情報提供）
  - (2) 厚生労働省健康局長「管理栄養士国家試験出題基準の策定について」（情報提供）
  - (3) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会平成30年度第2回総会への出席
  - (4) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「健康な食事研究会アドバイザー委員」の就任
  - (5) 一般社団法人日本糖尿病学会「食事療法に関するお願い」意見提出
  - (6) 一般社団法人臨床栄養実践協会「臨床栄養実践協会第6回記念セミナー」後援

- (7) 第7回日本食育学会学術大会実行委員会「第7回日本食育学会学術大会」後援
- (8) 一般社団法人日本摂食障害協会「世界摂食障害アクションディ2019」後援
- (9) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2019」後援
- (10) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「第8回栄養とエイジング国際会議」後援

#### 【V. 広報関連事項】

- 1. ホームページ事業・・・1月11日から5月23日までの更新情報と英語版ホームページのリニューアル案が配布され、これを了承した。コンテンツの提案や、会員のページの充実と活用について、理事各位・支部会から積極的な協力をいただきたい旨、発言があった。
- 2. JSNDメールニュース事業・・・定期ならびに臨時ニュースの配信状況が配付され、これを了承した。「役員からの一言」の今後の担当について確認した。

#### 【VI. 国際関連事項】

- 1. 国際活動推進委員会報告・・・①IUNS-ICN2021進捗状況、②アメリカ栄養教育行動学会2019の参加勸奨（本学会会員割引サービス）、③2024年までの日韓シンポジウムの開催国の調整と、2019年の概要、④栄養改善事業推進プラットフォーム（NJPPP）事業、について配付され、これを了承した。

#### 【VII. 支部会報告】

- 1. 支部長会議の開催準備・・・9月5日に富山県民会館（第66回学術総会会場）で開催する支部長会議の概要が配布された。「会員増対策の取り組み」の議事を追加し、これを承認した。
- 2. 支部会活動報告
  - (1) 北海道支部会・・・第17回支部会学術総会は黒河あおい名寄市立大学准教授を学術総会会長とし、12月8日に天使大学で市民公開講座とともに開催する。
  - (2) 東北支部会・・・第5回支部会学術総会は笹田陽子盛岡大学教授を学術総会会長とし、5月19日に盛岡大学アクティブホールで開催した。市民公開講座は7月20日に仙台市・スタンダード会議室で開催する。
  - (3) 関東・甲信越支部会・・・第6回支部会学術総会は木村典代高崎健康福祉大学教授を学術総会会長とし、3月10日に高崎シティギャラリーで開催した。実践栄養学研究セミナーは荒井裕介千葉県立保健福祉大学准教授を担当幹事とし、3月に全4回コースを終了した。NP0第17期の市民公開講座は廣田直子松本大学教授を担当幹事とし、9月29日に松本大学で開催する。第7回支部会学術総会は瀧本秀美医薬基盤・健康・栄養研究所部長を学術総会会長とし、2020年2月～3月に医薬基盤・健康・栄養研究所で開催する。
  - (4) 北陸支部会・・・第14回支部会学術総会は石黒康子富山県栄養士会長を学術総会会長とし、2月24日に富山県総合福祉会館で市民公開講座とともに開催した。第15回支部会学術総会は北山富士子福井県栄養士会長を学術総会会長とし、2020年2月23日または3月1日に福井市内で市民公開講座とともに開催する。
  - (5) 東海支部会・・・第8回支部会学術総会は森圭子愛知学院大学教授を学術総会会長とし、6月9日にウインクあいちで市民公開講座とともに開催する。第9回支部会学術総会は今枝奈保美至学館大学教授を学術総会会長とし、2020年6月7日にウインクあいちで開催する。実践栄養学研究セミナー（中級編）は3月に全2回コースを終了した。NP0第17期の実践栄養学研究セミナー（初級編）を申請中である。
  - (6) 近畿支部会・・・第17回支部会学術総会は桑島千栄京都光華女子大学准教授を学術総会会長とし、3月10日に京都光華女子大学で開催した。第18回支部会学術総会は木戸慎介近畿大学准教授を学術総会会長とし、近畿大学での開催に向けて調整している。NP0第17期の実践栄養学

研究セミナー（ステップ2）を申請中である。

（7）中国支部会・・・第15回支部会学術総会は引野義之松江赤十字病院栄養課長を学術総会会長とし、6月15日～16日に島根県立大学出雲キャンパスで開催する。実践栄養学研究セミナーは4月から3回コースで開催中である。同セミナーは初めての実施であり、参加者の募集に苦慮したことが説明され、セミナー事業申請要項の見直し（実践現場の会員の参加喚起）について要望があった。

（8）四国支部会・・・第6回支部会学術総会は宮本賢一徳島大学教授を学術総会会長とし、4月27日に徳島大学で市民公開講座とともに開催した。第7回支部会学術総会は丸山広達愛媛大学准教授を学術総会会長とし、準備を進めている。

（9）九州・沖縄支部会・・・第6回支部会学術総会は叶内宏明鹿児島大学准教授を学術総会会長とし、3月23日～24日に鹿児島女子短期大学で市民公開講座とともに開催した。第7回支部会学術総会は2020年3月に宮崎県で開催する。

#### 【Ⅷ. NPO第17期事業計画案及び予算案】

1. NPO第17期事業計画案及び予算案の骨子・・・事業計画案、予算案、支部会活動費（予定）が配付され、また、管理栄養士・栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの普及啓発について令和元年度に厚生労働省より委託事業の予定がある旨、追加の説明があり、これを承認した。評議員会・総会に提案する予算案の摘要欄項目は、適切に修整することを確認した。

以上